

環境調査結果のお知らせ

平成22年3月26日
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年3月26日午前10時に浦戸湾（高知市横浜・県漁協高知市支所前岸壁）の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温と塩分

水温は11.3～17.6℃、塩分は11.78～32.03でした。先日までの雨で湾内に多量の淡水が流入しているため、表層の水温・塩分ともに前回調査（平成22年2月25日）に比べて大きく変化しています（水温5.1℃低下、塩分11.11低下）。2m層以深の水温・塩分は前回調査との較差も小さく、比較的安定した状態で推移していると考えられます。

溶存酸素

溶存酸素濃度は6.0～7.0mg/l（酸素飽和濃度70～80%）で、前回調査に比べて総体的に下がりましたが、環境的には適度な酸素濃度になっています。溶存酸素濃度が前回調査より下がっているのは、海水中のプランクトン量が少なく光合成による酸素供給が低位なためと考えられます。

プランクトン

採水の顕微鏡観察では、ラフィド藻のヘテロシグマ・アカシオ、小型の渦鞭毛藻（プロロセントラム類）が検出され、その他、微細藻類、珪藻類、繊毛虫類などが観察されました。出現細胞数は、ヘテロシグマ・アカシオが0～200cells/ml、プロロセントラム類は99～1,400cells/mlで、両種とも比較的低密度でした。ただ、ヘテロシグマ類やプロロセントラム類は、浦戸湾では毎年春先から初夏に赤潮を形成していますので今後の動向には注意が必要です。特に、ヘテロシグマ・アカシオは20,000cells/ml程度で魚類に被害が出る可能性があるため注意してください。プロロセントラム類は基本的に魚類には無害です。その他、特に危険な有害プランクトンは確認されませんでした。

雨後に好天が続くと赤潮が発生しやすくなります。海面の様子や魚など生き物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

平成22年3月26日の観測結果（高知市横浜 水深：3.0m 透明度：2.1m）

水温：℃
塩分：psu
溶存酸素：mg/l

	今回調査結果				前回の結果（2010.2.25）		
	水温	塩分	溶存酸素	出現プランクトン	水温	塩分	溶存酸素
0m	11.3	11.78	7.0	ヘテロシグマ・アカシオ / プロロセントラム類 / 珪藻類 / 繊毛虫類	16.4	22.89	9.1
2m	17.0	28.79	6.0		17.0	31.95	10.0
3m	17.6	32.03	6.3		17.0	32.58	9.4

※前回調査の底層は3.0m

以上